

- 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
- 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
- 受験するときに持参するもの。
 - 受験票
 - 筆記用具
 - そろばん
 - 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
- 答案記入上の注意
 - 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
 - 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること。
 - 無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 0.25 1,427.39 2,905,406
 - 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595	0.460 0.46
5.2004	5.200 5.2 (5.20 とは書かないこと。)
 - 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

そろばん面

0.450.45 .45 (0.450 又は .450 とは書かないこと。)

5.2.....5.2 (5.20 又は 5.200 とは書かないこと。)
 - 名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528- 9,528

(¥9,528.0 ¥9,528 ¥ ¥9,528 円 9,528 ¥)のような書き方はしないこと。)

[注] 答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
 - 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
 - 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
 - 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
 - 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
 - コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。
- その他の注意
 - 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
 - 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
 - アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
 - 受験票を紛失したり、忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に再交付（手数料¥100）を受けて受験すること。
 - 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。
 - 電源が切れない携帯電話をお持ちの場合は、試験委員に預けること。

しゅざんのうりよくけんてい きゅう し けんじゅけんしゃ ちゅうい
珠算能力検定4・5・6級試験受験者への注意

小田原箱根商工会議所

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
3. 受験するときに持参するもの。
 - (1) 受験票
 - (2) 筆記用具
 - (3) そろばん
 - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
4. 答案記入上の注意
 - (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
 - (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること、が原則であるが付けなくてもよい。
 - (3) 名数の答の頭には、円の記号（¥）を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
 - (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
 - (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
(例) $123,456$
 ~~$123,456$~~
 - (6) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は（ ）で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
 - (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。
5. その他の注意
 - (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
 - (2) 計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
 - (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
 - (4) 受験票を紛失したり、忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
 - (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。
 - (6) 電源が切れない携帯電話をお持ちの場合は、試験委員に預けること。